

## 第9回宗像地区教育関係者合同研修会

「福岡教育大学と宗像地区小・中学校のニーズにあった連携について」  
～「実践型教員養成」に向けた事例紹介と今後の展望～  
8月7日福岡教育大学アカデミックホール

### 合同研修会参加者数内訳 (両市教育委員会・小中学校)

校種・職種	市	宗像市 参加者数	福津市 参加者数	計
小学校 校長		14	7	21
中学校 校長		4	3	7
小学校 教頭		13	6	19
中学校 教頭		7	1	8
小学校 主幹・教務		11	3	14
中学校 主幹・教務		5	4	9
小学校 教諭		0	0	0
中学校 教諭		1	0	1
計		55	24	79
教育委員会関係者		14	9	23
合計		69	33	102

### (大学関係者)

大学関係	参加人数
教育大学事務局	9
教授・准教授	37
連携推進室関係	16
合計	62

### (前年比)

関係機関	年度	H25	H26	増減
小中学校関係者		90	79	-11
教育委員会関係者		19	23	4
大学関係者		83	62	-21
合計		192	164	-28



#### 寺尾学長の挨拶

○宗像地区の小中学校との連携を強固にしてそれを基盤に福岡県や九州全体に位置づく教育大をめざしていきたい。

#### 井上教育委員長の挨拶

○市教委と教育大学との連携のシステムが整ってきています。今後も更なる充実発展を望みます。

美術教育講座准教授松久先生の実践の発表  
「平成23～25年度概算要求特別経費プロジェクト成果報告」「美術教育講座が取り組む他の事例及び宗像地区との連携の在り方」と題しての発表

宗像地区の小学校の図工室の改善、図画工作や書道の授業の改善学校の芸術環境の工夫等、宗像地区を中心にここ数年間、地道に取り組んできたことを発表されました。大学の研究と学校現場を結び付けた実践及び発表内容でその迫りに圧倒されました。

松久先生の発表を聴く参加者の方々です。皆さんとても熱心に聴いています。

図工室がきれいに整備されている様子が画面に写しだされると特に小学校の先生方は驚いていました。小学校では特別教室の整備に手が届かず誰も手を出さないという現状があります。そこに着目した松久先生に大きな拍手を送ると共に我が学校もお願いしたいという声がたくさんおこりました。

図工室を改善していただいて大変助かりました。図工の授業もしやすくなりました。(玄海東小 小野教頭)  
小学校教科等研究会図画工作科担当の久保田校長からは教育大との連携で図工教科等研修会に取り組んでいることについての報告がなされました。小中の教科等研修会と大学との連携が強くなりつつあります。

来年度へ向かって（教育大学のアカデミックホールが会場ならばもう少し参加者を増やすことが可能である。）

- ①小中学校は管理職と教務主任の枠を一般の教員 特に若手の教員まで広げたらどうだろうか。
- ②大学は更なる参加者の増加のために広報活動に力を入れたらどうだろうか。

平成26年度 宗像市立小中学校  
授業を楽しくするICT活用研修会(8月21日実施)

“Communicating in English” 外国語教育研修会(8月26日実施)

“Communicating in English”外国語教育研修会

宗像市教育委員会主催の研修ですが、教育大学の英語教育講座の森先生、中島先生を講師にお願いすると共に教育大学の共通講義棟102教室をお借りして研修を実施しました。

目的

外国語教育についての今後の展望や具体的な指導方法の講義演習を通して、外国語活動及び外国語科の授業指導力の向上を図る



森先生の講義「外国語教育についての今後の展望と授業づくりの在り方」について最新の情報や先生の実践を取り入れながら、わかりやすくお話していただきました。参加した先生方はとても熱心に聴かれています。



中島先生の演習「新しい外国語教育の授業づくり」まるで外国語の授業を受けているような演習で中島先生の授業に参加者全員が引き込まれていました。ICT機器も上手に使われていて参考になりました。



4, 5人の小集団での活動もありました。小中学校の先生方が一緒になって課題の解決に向けて話し合いをしていました。結果発表は各班前に出て英語でディベート披露!



(参加者の感想から)

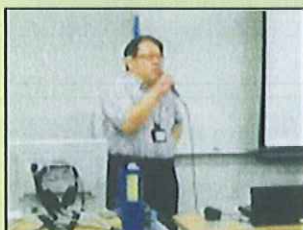
- ①今まではALTの先生に任せてしまっている部分が多くありました。この研修ではHRTの関わり方や授業づくりなど様々なことを学ぶことができ見直す機会となりました。
- ②私は中学校の教員ですが小学校の特性を生かして小学校の間にした方が良いことは小学校の外国語活動でもらうように話し合っていきたいと思いました。
- ③2学期からさっそく授業に取り入れてやっていきたいことがたくさんありました。タスク活動の意味や考え方がよくわかりました。

授業を楽しくするICT活用研修会

宗像市教育委員会主催の研修ですが、教育大学の理科教育講座の古川先生を講師にお願いすると共に教育大学の共通講義棟パソコンルームをお借りして研修を実施しました。

目的

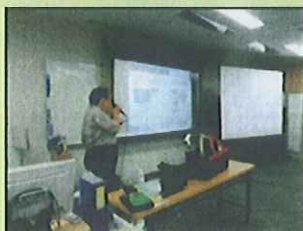
子どもの学習意欲を高め学力を向上させるICT機器活用についての講義や演習を通して授業におけるICT機器活用に向けての基本的な資質の向上を図る。



古川先生作成のテキストと昨年度のプロジェクターで作成したリーフレットを活用した講義演習です。デジタルカメラで撮影した写真を一気にパワーポイントにする技を教えてくださいました。できたパワーポイントを更に動画にするとところまで習いました。講義の中で古川先生がどのようにICT機器を活用しているかも大変参考になる内容でした。



参加した先生方はとても熱心で講義演習に集中していました。ほとんどの方がデジカメで写真はとる。しかしそのあと取りためた写真はそのままになっているとのことでした。今回の研修を受けてどうすればいいかがわかったと述べられました。最後に作成したパワーポイントと動画をDVDに保存して持ち帰られました。



(参加者の感想から)

- ①1年生を担当しているのでたし算、ひき算のフラッシュカードを今日習ったパワーポイントの作成方法で作ってみたいと思いました。
- ②今日の研修は1日研修でやってみたいと思いました。
- ③パワーポイントについては全く使用できないという自分自身の実態があるが、その実用性の高さに驚くと共にやってみたいという気持ちが持った古川先生からはもう少し時間をいただいて演習をさせてもらいたいと思った。もっと長く習いたいと思った。
- ④パワーポイントを使いこなせるようになると教材が自由に自作できることがよくわかりました。

平成26年度 宗像市教育センター・福津市教育研究所・福岡教育大学(教職大学院)共催事業  
**「経営力・授業力・組織力アップ! 選べる夏期講座」 8月25日実施**

**研修参加者数**

本研修は小中学校の教諭等を対象にしたものです。宗像市教育委員会、福津市教育委員会、福岡教育大学教職大学院の三者の共催事業として実施されているものです。

今年度は昨年度までの6講座を見直して5講座で実施しています。1講座減っていますが、参加者数は例年並でした。

また、宗像市は本講座以外に、外国語教育研修会を8月21日にICT教育研修会を8月26日に福岡教育大学を会場に講師を教育大学の先生方をお願いして実施しました。

	宗像市小	宗像市中	福津市小	福津市中	地区外	全体
平成24年度1~6講座の参加者	78名	16名	24名	11名	20名	149名
	94名		35名		20名	
平成25年度1~6講座の参加者	78名	18名	27名	1名	12名	136名
	96名		28名		12名	

平成26年度選べる夏期講座 8月25日実施

参加者数		選べる夏期講座の種類					合計	
		算数・数学科の授業づくり	授業づくりの基礎基本	国語科の授業づくりの基礎基本	学級づくりの基礎・基本	理科授業づくり		
福津市	小	1	6	15	6	3	31	33
	中	0	0	2	0	0	2	
宗像市	小	16	10	24	17	10	77	94
	中	3	5	1	5	3	17	
合計		20	21	42	28	16	127	

宗像市の小中学校の教員は例年小学校が80名若、中学校が20名若が本研修に参加しています。今年若き先生方の参加が多かったです。他地区からの参加者はありませんでした。

講座1「子どもが熱中する国語科授業づくりの基礎基本」  
 教職大学院の高宮先生を講師に、指導助言者として宗像地区の主幹教諭の西田先生・児島先生指、導教諭の阿部先生、研究主任の手塚先生方にも来ていただき小集団活動をたっぷり取り入れた内容で行われました。



国語の講座は毎年たくさんの小学校の先生方が参加されます。今年は中学校の先生も参加され1班つくりことができ、熱心な活動をされていました。

講座2「授業づくりの基礎・基本～学びの土台づくりとユニバーサルな学習環境を考える～」  
 西山久子教授を講師に宗像地区の若手教員の実践発表をもとに授業づくりについて考えました。



福岡小学校の高田教諭の事例発表：授業の工夫や宿題の点検方法、ユニバーサルな環境について等を発表された。

自由ヶ丘中学校の千原教諭の事例発表：生徒4人班の活動の時間をたっぷり取ることで、わからないとあきらめる生徒をつくらぬ努力をしたことを発表されました。



西山先生は若い先生方の実践発表の内容を生かしながら授業の中でどの子にも役立つユニバーサルな学習環境づくりについて話されました。

講座3 算数数学科における授業づくりの基礎基本



重松教授を講師に算数数学科の授業づくりについて話していただきました。宗像地区から附属小に行っている森先生も講義IIを担当してくれました。

講座4 科学する子どもを育てる授業づくり



平石教授を講師に理科の授業づくりについて話していただきました。初めて開講した講座に参加した先生方はとても熱心

講座5 学級づくりの基礎基本



高松准教を講師にお願いして学級づくりについて話していただきました。羽田野先生も講義IIを担当してくれました。

## 選べる夏期講座に参加した先生方の感想から

### 講座 国語

- ①国語というものがほとんど分からず日々の授業を何とかこなしている自分にとっては今日の研修はとてためになることが多くありました。また、どのように教材研究をすればよいか、どんな発問があるかなど9月から実践したいことがたくさんありました。
- ②国語に対して苦手意識があります。しかし今回の講座を受けて自分自身が楽しいと思えるようになりました。更にそのように思うことが大事であると感じました。

### 講座 授業づくり

- ①3つの実践事例をお聞きし、これからの学校生活で自分は何に取り組んでいこうか考えることができました。
- ②「全てのこどもが分かりやすく・・・」というテーマで演習協議を行うことができてよかったです。
- ③所属校の校内研で授業づくりの視点として「シンプル・クリア・ビジュアル」が取り入れられていますので大変参考になりました。
- ④西山先生の指導助言は3人の発表を受けてそれらを即その場で分析して視覚で見えるようにパワーポイントを作られ、講義の中で示しながら話してくださったので内容がよく理解できました。

### 講座 学級づくり

- ①羽田野先生の講義で子どもを和やかにする「ありがとう回し」などは2学期に即実践できると思いました。理想の上司像はすなわち理想の担任像であること、これからどう子どもに向き合うかヒントをいただきました。高松准教授の講義ではストレスマネジメントに関わる具体的な技法を学ばせていただきました。ぜひ学級で取り入れたいと思いました。
- ②演習をまじえての学習で頭だけでなく実感として有効性を理解することができました。若年層向けとばかりに強調せずに広く開講していただきたい。若年でない私にも役立つ研修でした。

### 講座 算数・数学

- ①算数・数学科の基礎基本について、今まで分かったつもりでいたようなことを正しく再認識することができました。重松先生がおっしゃっていた低学年で積み残してはいけないという言葉が心に強く残り身が引き締まる思いがしました。
- ②森先生の講義で提示された「子どもが意欲的に取り組む気になる多様な問題例」はとても参考になりました。

### 講座 理科

- ①講義・実践発表共に興味深く聴かせていただきました。理科を専門的に勉強したことがなく、また1、2年生の担任が続き久々に高学年を担当したので今回受講しました。理科は特に自分自身がしっかりと教材研究をし経験実践することが子ども達の学びに大きく関わってくると思います。平石先生の講義で「教科書にはたくさんのヒントが載っている」という言葉を忘れずにもう一度教科書をじっくり見てみたいと思いました。
- ②講義実践を聴いて自分の授業の在り方を反省するばかりでした。

## 今後実施してほしい講座

- ICTを活用した授業づくりの講座が教科ごとにあると有難いです。
- 中学校の子どもが熱中する理科授業づくりをしていただきたいです。
- 実験のさせ方観察のポイントなどすぐ使えそうな実践的内容の講座をしてほしいです。
- 実際に実験などをやる講座、具体的な実験のさせ方や準備を簡単にできる方法などを知りたいです。
- 小学校の内容がほとんどだったので中学校向けの講座をしてほしいです。
- 中堅層向けの講座をおねがいします。経験年数は30年を超えていますが学級経営は毎年新たな気持ちで学ぶことが多いです。若年層でなくても気軽に受けられるような講座をお願いします。
- 国語と算数は同じ時間に設定しないでほしいです。両方受けたいので。
- 今回のような参加型の研修をずっと続けてほしいです。
- ユニバーサルな支援の具体例を研修したいです。自分自身の引き出しを増やしたいと思います。
- 電子黒板の活用の仕方などを教えてほしいです。
- 今後初任者等が増え授業に対する指導助言も多くなっていく中、中堅教員を対象とした「指導助言のあり方」などを学べる講座があればよいと思います。